

iiyama

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

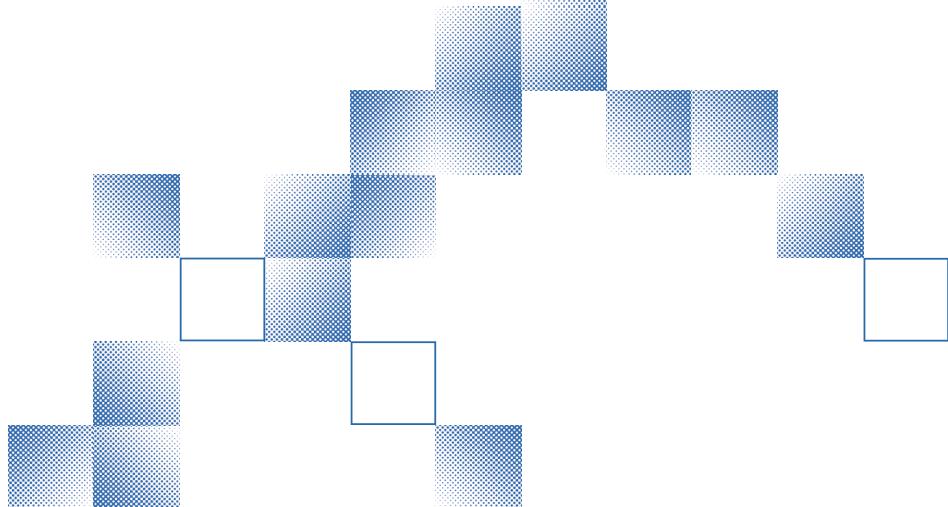
ProLite C380T

重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みに

なり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、大切に保管してください。



警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードおよびACアダプタは付属のものを使用すること。

-
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
 - 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
 - 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
 - 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。
 - 乱丁、落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

愛情点検

長年ご使用のモニタの点検を！



ご使用の際
このようなことは
ありませんか

- 電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。
- キャビネットが異常に熱い。
- 煙が出たり、こげくさい臭いがする。
- 使用中に異常な音や振動などがある。
- その他の異常や故障がある。



ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

もくじ

安全にご使用いただくために	1
ご使用の前に	6
特長	6
標準付属品	6
各部のなまえ	7
リモコンについて	9
基本の操作	11
画面の角度調節	13
コンピュータとの接続	14
接続手順	14
コンピュータの設定	15
画面操作手順	16
調整メニューの内容	17
画面の調整	19
パワーマネジメント機能	21
その他の周辺機器との接続	22
AV機器(ビデオ・DVD・ゲーム機等)との接続	22
アンテナとの接続	22
調整メニューの内容	23
故障かなと思ったら	25
クリーニング	27
アフターサービス	28
保証書／保証期間について	28
修理サービス	28
オプション部品	28
リサイクル／廃棄について	28
付録	29
一般仕様	29
外形寸法図	30
対応信号タイミング	30
信号入力コネクタのピン配列	31

安全にご使用いただくために

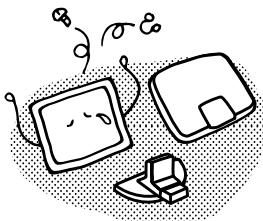
ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

⚠ 警告



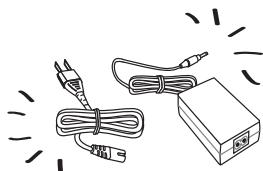
万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は販売店またはイーヤマサービスセンターにご依頼ください。



付属品以外の電源コードやACアダプタを使用しない

火災や故障の原因となります。



異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

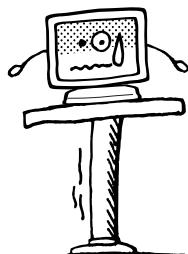


花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。

万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

⚠️ 警告



禁止

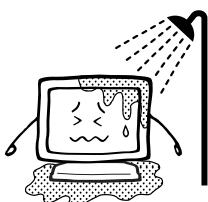


プラグを
抜く

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での
使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードやACアダプタを分解しない、傷つけない

電源コードやACアダプタを分解すると、火災や感電の原因となります。

電源コードやACアダプタの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。ACアダプタから出ているコードは、ACアダプタ本体に巻きつけたりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店またはイーヤマサービスセンターに交換をご依頼ください。

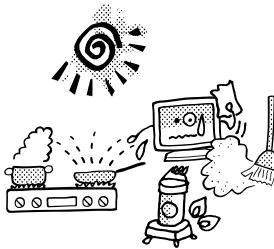


接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグやアンテナ線に触れない

感電の原因となります。

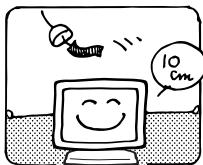
⚠ 注意



置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 热器具の近く



通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

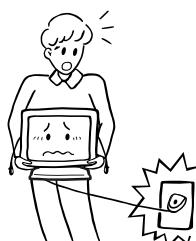
- × スタンドをはずす。
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から10cm以上離して置いてください。



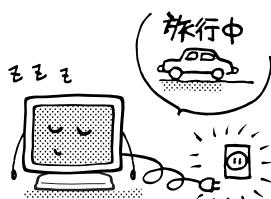
ACアダプタに布団や毛布などをかぶせない

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



移動させるときは、外部の接続コードをはずす

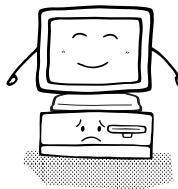
電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをACアダプタからはずしてください。火災の原因となることがあります。

⚠ 注意



コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。



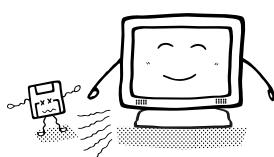
プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



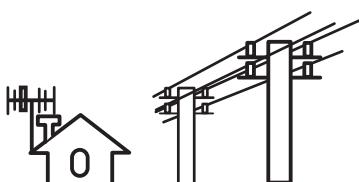
ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



スピーカーにフロッピーディスクを近づけない

スピーカーは磁気を発生するため、磁気記録のデータが消えてしまうことがあります。



アンテナの設置は販売店にご相談ください

室外アンテナを取り付けるときは、電線と接触しないように電線から離れた場所に設置してください。アンテナが電線に接触すると、感電の原因となります。

また、突風や嵐が起こった場合でも、アンテナが倒れたり飛ばされたりしないように、しっかりと固定してください。アンテナの損傷・破損・故障の原因となります。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cmはなれたくらいが見やすくて疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像(焼き付きのような症状)が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。
 - ・画面の表示パターンを変える。
 - ・数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

特長

- ◆ 38センチ(15.0インチ) TFTカラー液晶モニタ
- ◆ 最大1024×768モードをサポート
- ◆ 高コントラスト400:1, 高輝度500cd/m², 高速応答速度16msの高性能パネル採用
- ◆ ステレオスピーカー内蔵
1.5W+1.5W出力のステレオスピーカー内蔵。便利なヘッドホン端子も搭載しています。
- ◆ プラグ&プレイ VESA DDC1/2B対応※
Windows® 95/98/2000/Me/XP上でプラグ&プレイに対応しています。
- ◆ 省電力設計※
パワーマネージメント機能搭載
- ◆ 高画質チューナー内蔵
- ◆ ゲームやビデオ編集に便利なビデオ入力コネクタ
- ◆ VESAマウント規格(75mm×75mm)対応

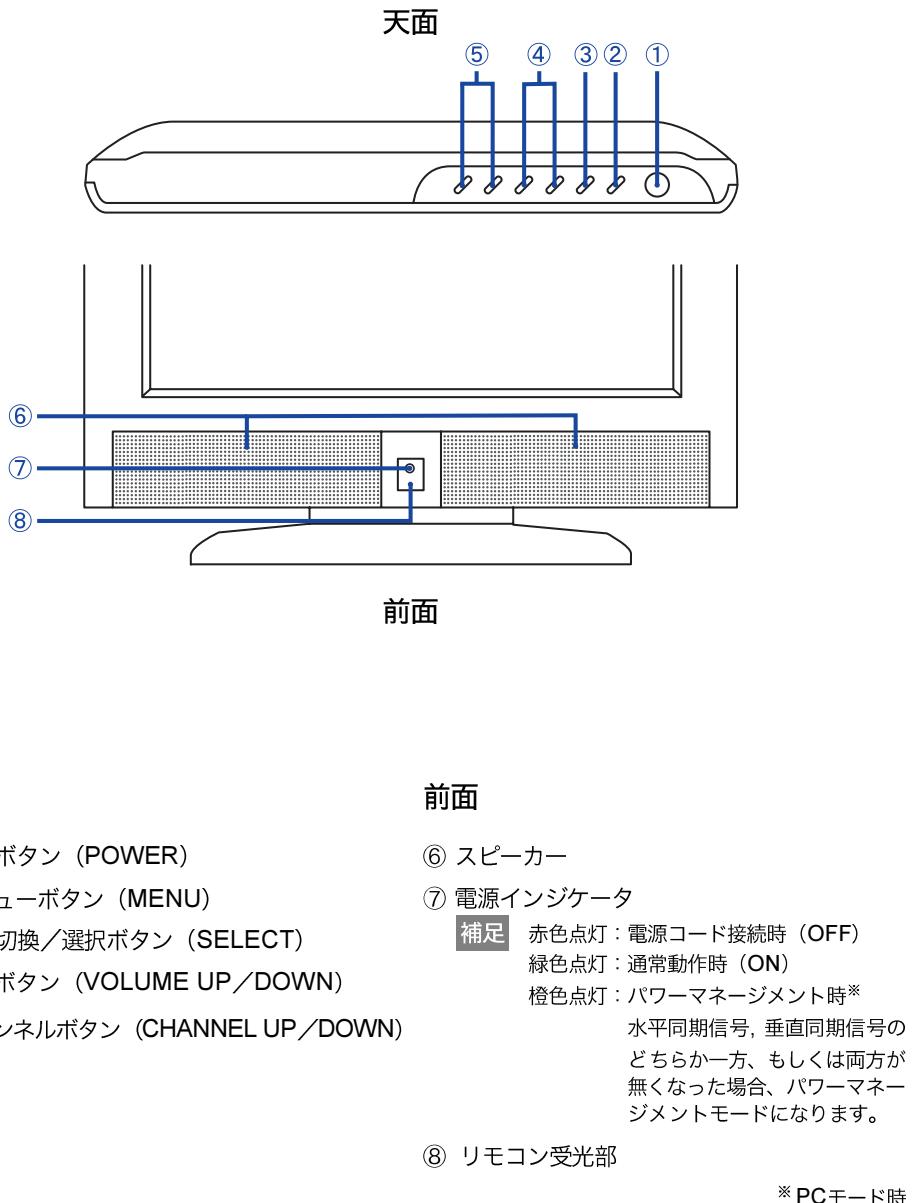
* PCモード時

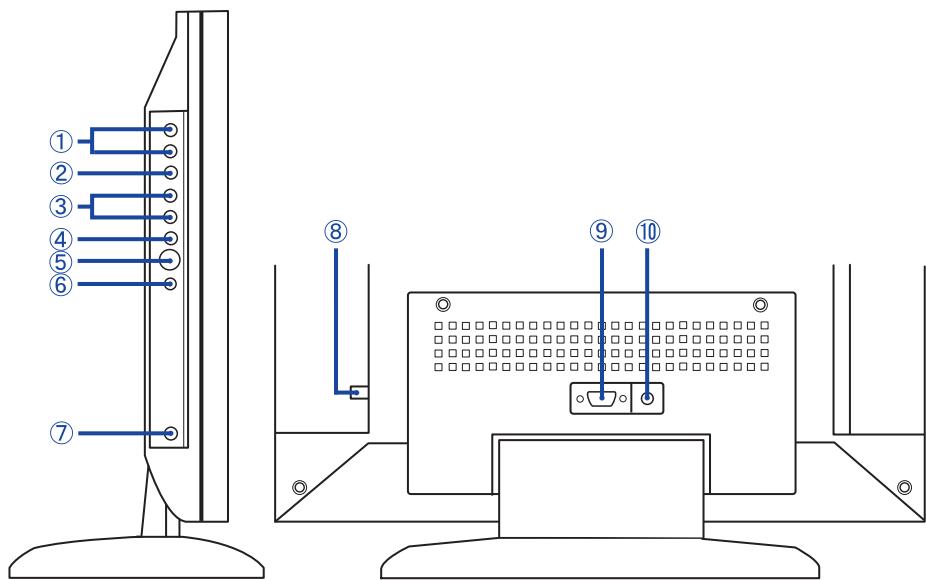
標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ■ 電源コード※ | ■ ACアダプタ※ |
| ■ D-SUB信号ケーブル | ■ コンピュータ用オーディオケーブル |
| ■ リモコン | ■ 単4形乾電池×2 |
| ■ 取扱説明書／保証書（本書） | ■ ユーザー登録のご案内 |

補足 * 必ず付属の電源コードとACアダプタを使用してください。これ以外のものを使用した場合、サポート及び保証の対象外となります。





側面

背面

側面

背面

- ① ビデオ用音声出力コネクタ (L-AUDIO-R)
- ② ビデオ出力コネクタ (VIDEO)
- ③ ビデオ用音声入力コネクタ (L-AUDIO-R)
- ④ ビデオ入力コネクタ (VIDEO)
- ⑤ S-ビデオ入力コネクタ (S-VIDEO)
- ⑥ ヘッドホン端子 (HEAD PHONE)
- ⑦ ACアダプタ接続コネクタ (DC IN)

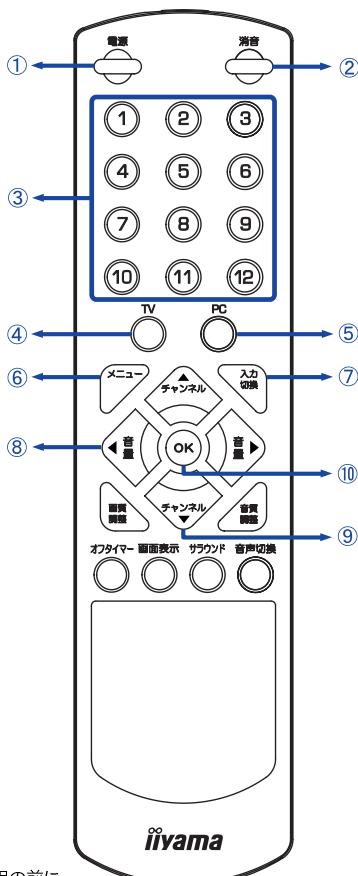
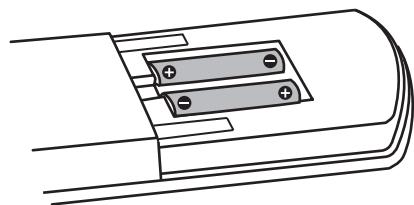
- ⑧ アンテナアダプタ接続コネクタ
- ⑨ D-SUBミニ15ピンコネクタ (VGA)
- ⑩ コンピュータ用音声入力コネクタ
(PC-AUDIO-IN)

リモコンについて

！注意

リモコンに指定以外の電池や、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。また、リモコンに電池を入れるときは、極性表示(プラスとマイナス)に従って正しく入れてください。電池が破裂したり液もれすることにより、火災やけが、周囲を汚損する原因となることがあります。

- 補足**
- リモコンをモニタの近くで操作しても動作しなくなったら、電池の交換時期です。新しい電池と交換してください。使用電池は単4形乾電池です。
 - リモコンはモニタ本体のリモコン受光部の正面から約10mの範囲内で、リモコン受光部に向けて操作してください。
 - 市販のリモコンは使用できません。必ず付属のリモコンをご使用ください。



① 電源

② 消音

音声を一時的に消します。再度押すと、もとの音量に戻ります。

③ TVチャンネル番号

地上放送チャンネルを選局します。

④ TV

TVモードを選択します。

⑤ PC

PCモードを選択します。

⑥ メニュー

⑦ 入力切換 (PC/TV/ビデオ/S-ビデオ)

⑧ 音量 (▶UP/◀DOWN)

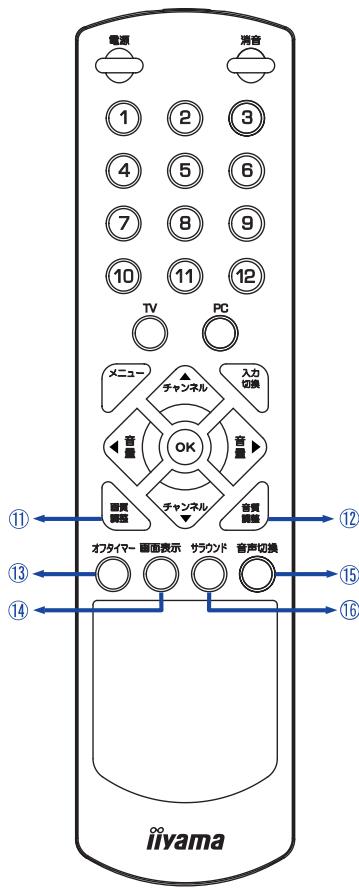
⑨ チャンネル (▲UP/▼DOWN)

⑩ OK

カーソルで選択したメニュー項目や設定を決定します。

補足

⑥～⑨についてはP.11～「基本の操作」を参照してください。



⑪ 画質調整

TV／ビデオ／S-ビデオモード時の画質を選択します。
ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

CUSTOM 映像メニューで調整された状態の画質

STANDARD 標準（工場出荷設定）

STRONG 日中の明るい所に適した濃色で鮮明な画質

MOVIE DVDやビデオなどに適した画質

SOFT 暗い所に適した目にやさしい画質

⑫ 音質調整

音質を選択します。

ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

CUSTOM 音声メニューで調整された状態の音質

STANDARD 標準（工場出荷設定）

MUSIC 音楽ビデオや生放送に適した音質

MOVIE 映画に適した臨場感のある音質

SPEECH ニュースやトークショーに適した音質

⑬ オフタイマー

指定時間後にパワーマネジメントモードにします。
ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

OFF(0分) → 10分 → 20分 → 30分 → 60分 →
90分 → 120分 → 150分 → 180分 → OFF(0分)

補足 ■ 設定後、途中でボタンを押すと、パワーマネジメントモードに切り換わるまでの残り時間が画面に表示されます。

■ モニタの電源をOFFにすると、設定は解除されます。

⑭ 画面表示

次の情報を画面に表示します。

■ PC／ビデオ／S-ビデオモード時：選択モード名

■ TVモード時：チャンネル番号

⑮ 音声切換

TVモード時、ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

■ ステレオ放送：

モノラル → ステレオ → モノラル

■ 音声多重放送：

主音声 → 副音声 → 主音声／副音声 → 主音声

⑯ サラウンド

ステレオ音声のときに臨場感のある音にします。

ボタンを押すたびにON／OFFが切り換わります。

補足

⑭についてはP.18またはP.24「インフォメーション」、
⑮についてはP.23「音声多重」を参考してください。

① メニューページを表示させる

モニタ本体またはリモコンの**メニューボタン**を押すと、画面にメニューページが表示されます。ボタンを再度押すと、メニューページが消えます。

② 音量を調整する、カーソルを左右に移動させる

画面にメニューページが表示されていないときにモニタ本体またはリモコンの**音量ボタン**を押すと、スピーカー音量を調整することができます。

画面にメニューページが表示されているときは、メニューを選択したり、調整や設定を行ないます。

③ チャンネルを選ぶ、カーソルを上下に移動させる

画面にメニューページが表示されていないときにモニタ本体またはリモコンの**チャンネルボタン**を押すと、テレビチャンネルを選ぶことができます。*

画面にメニューページが表示されているときは、調整項目を選択します。

* TVモード時

補足 選べるチャンネルは、調整メニューのチャンネルスキップ設定で「記憶」に設定したチャンネルのみです。(P.24「チャンネルスキップ設定」参照)

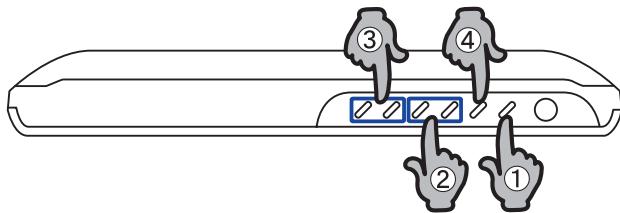
④ 入力モードを切り換える

画面にメニューページが表示されていないとき、モニタ本体またはリモコンの**入力切換ボタン**を押すたびに次のように切り換わります。

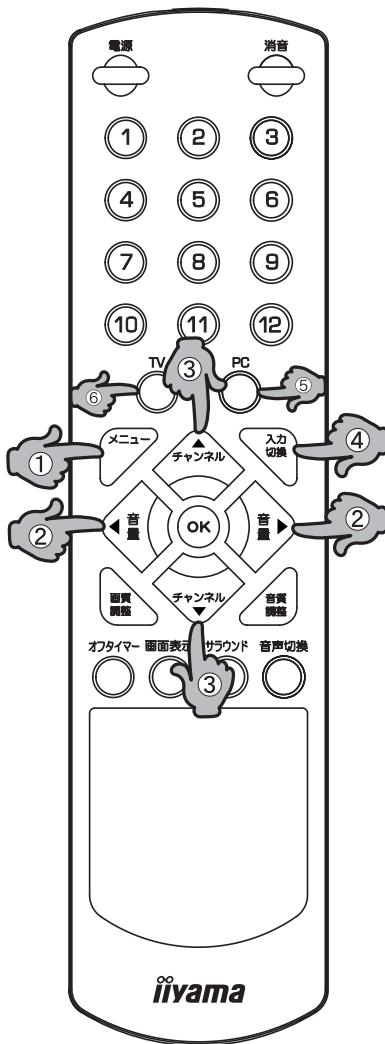
パソコン(PC) → TV → ビデオ → S-ビデオ → パソコン(PC)

補足 PCモードとTVモードはリモコンの**PCボタン(⑤)**と**TVボタン(⑥)**でダイレクト選択できます。

モニタ本体（天面）



リモコン



！ 注意 ■ 角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。

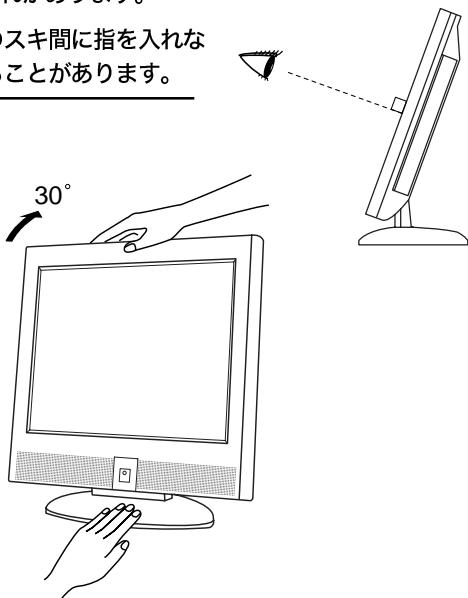
■ 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。

■ 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。

■ 角度調節の際は、倒れないようにスタンド部を必ず押さえてください。

■ 調節範囲は、後方0°～30°です。

■ 画面の角度は10°以内にすると目の疲れ等なく、最適に使用することができます。傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。



コンピュータとの接続

△ 注意

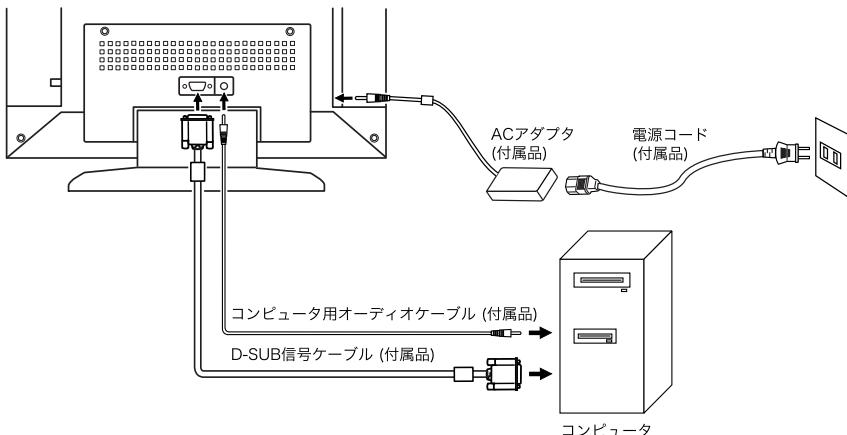
- 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。
- 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

接続手順

- ① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
- ② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。(P.31 「信号入力コネクタのピン配列」 参照)
補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。
- ③ オーディオ機能を使用する場合は、コンピュータ用オーディオケーブルをモニタとオーディオ機器に接続します。
- ④ モニタ本体のACアダプタ接続コネクタにACアダプタを接続します。
- ⑤ ACアダプタに電源コードを接続し、電源コードをコンセントに接続します。

【接続例】

<後面>



アダプタの品名を青色で記載しています。

接続するコンピュータ	コンピュータ側	接続		モニタ側
AT互換機 (DOS/V) IBM	D-SUB ミニ15pin	D-SUB信号ケーブル (付属品)	変換アダプタ PC98 バージNo.242Z020-01	D-SUB ミニ15pin
NEC PC98	D-SUB 15pin	D-SUB信号ケーブル (付属品)		
Macintosh*	D-SUB 15pin	変換アダプタ MAC バージNo.T985V003-30	D-SUB信号ケーブル (付属品)	

補足

* Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。

コンピュータの設定

■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度(P.30「対応信号タイミング」参照)に設定してください。

■ Windows 95/98/2000/Me/XP プラグ&プレイ対応

本製品はVESA規格のDDC1/2Bに対応しています。DDC1/2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP上でプラグ&プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XP モニタインフォメーションファイルが必要になる場合がありますので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.iiyama.co.jp>

補足

- ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますのでご覧ください。
- MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

画面操作手順

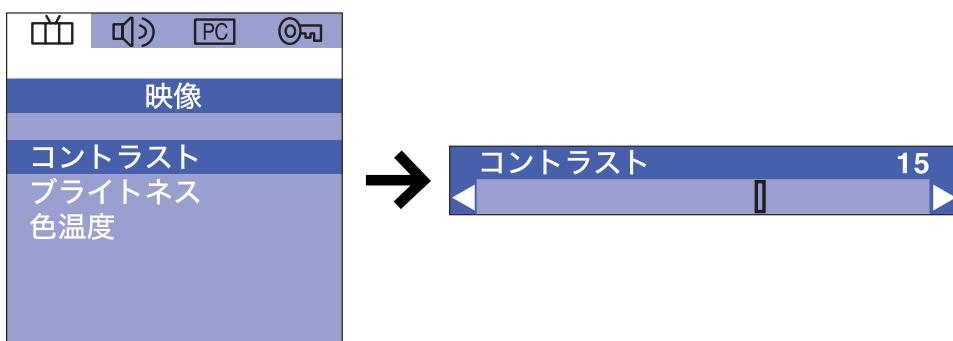
P.30の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従って、モニタ本体またはリモコンでボタン操作を行ってください。

- ① メニューボタンを押すと、画面にメニューページが表示されます。音量ボタン(VOLUME UP/DOWN、▶/◀)でメニューページを送ります。
- ② 調整したい項目があるメニュー画面(ページ)を表示し、選択ボタン(モニタ本体)またはOKボタン(リモコン)を押します。カーソルが調整項目の列に移動するので、チャンネルボタン(CHANNEL UP/DOWN、▲/▼)で調整する項目を選択します。
- ③ 再び選択ボタン(モニタ本体)またはOKボタン(リモコン)を押し、音量ボタン(VOLUME UP/DOWN、▶/◀)を使って調整や設定を行います。
- ④ メニューボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ることができます。

例えばコントラストを調整したいときは、まず映像メニューのページを表示させ、選択ボタン(モニタ本体)またはOKボタン(リモコン)を押します。

次にチャンネルボタン(CHANNEL UP/DOWN、▲/▼)で「コントラスト」を選択し、選択ボタン(モニタ本体)またはOKボタン(リモコン)を押します。

調整画面が表示されますので、音量ボタン(VOLUME UP/DOWN、▶/◀)でお好みの画面に調整します。



補足

- 調整中にボタン操作を中止すると約20秒後にオンスクリーン表示が消えますが、調整内容は記憶されています。
- 画面位置、クロック、フェーズの調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

調整メニューの内容

言語選択(LANGUAGE)で日本語を選択した場合を黒色、英語を選択した場合を青色で記載しています。
入力モードの切り換えについては、P.11 「④入力モードを切り換える」を参照してください。

PCモード時

映像 PICTURE		
調整項目		画面の状態/調整ボタン
コントラスト CONTRAST	弱すぎる 強すぎる	モニタ本体 リモコン UP VOLUME または DOWN
ブライトネス※ BRIGHTNESS	暗すぎる 明るすぎる	モニタ本体 リモコン UP VOLUME または DOWN
色温度 COLOR TEMPERAT.	6500K 標準 9300K	やや赤みがかったホワイト 標準ホワイト やや青みがかったホワイト
ユーザ	RED GAIN BLUE GAIN GREEN GAIN RED BIAS BLUE BIAS GREEN BIAS	弱すぎる 強すぎる
	リセット	モニタ本体 リモコン UP VOLUME または DOWN
		工場出荷設定に戻します

* 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、ブライトネスを調整してください。

音声 SOUND		
調整項目		画面の状態/調整ボタン
高音 TREBLE	弱すぎる 強すぎる	モニタ本体 リモコン UP VOLUME または DOWN
低音 BASS	弱すぎる 強すぎる	モニタ本体 リモコン UP VOLUME または DOWN
バランス BALANCE	右が弱い (左が強い) 左が弱い (右が強い)	モニタ本体 リモコン UP VOLUME または DOWN

位置調整 GEOMETRY

調整項目	画面の状態/調整ボタン	
水平位置 H. POSITION	<input type="checkbox"/> 左によっている <input checked="" type="checkbox"/> 右によっている	      モニタ本体 リモコン
垂直位置 V. POSITION	<input type="checkbox"/> 下によっている <input checked="" type="checkbox"/> 上によっている	    モニタ本体 リモコン
自動位置調整※ AUTO POSITION	画面位置を自動で調整します	

* この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。調整方法および手順については、P.19 「画面の調整」を参照してください。

機能 FUNCTION

調整項目	画面の状態/調整ボタン	
トラッキング TRACKING	自動トラッキング※1	クロック、フェーズを自動で調整します
	クロック	モニタ本体
	フェーズ	  モニタ本体 リモコン
インフォメーション※2 INFORMATION	入力信号タイミングを表示します	
言語選択 LANGUAGE	ENGLISH	英語表示
	JAPANESE	日本語表示

*1 この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。調整方法および手順については、P.19 「画面の調整」を参照してください。

*2 リモコンでの設定については、P.10 「⑯ 画面表示」を参照してください。

画面の調整

PCモード時は、必要に応じて画面を調整してご使用ください。

- 本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。
- 本製品に搭載されている液晶パネルは、 1024×768 の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。 1024×768 未満の解像度では、自動的に拡大表示モードとなり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は 1024×768 の解像度で使用することをおすすめします。
- 拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。
- コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。
- 調整は、電源を「ON」して30分以上たってから行ってください。
- 自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。
- 画面調整パターン以外では、自動調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手動で調整を行ってください。

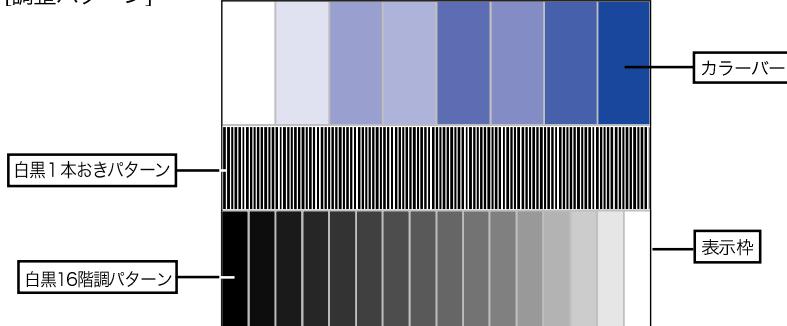
本製品には、画面の調整方法として位置、クロック、フェーズを自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、ポジションズれがある場合は手動で微調整を行います。

いずれも、弊社ホームページ(<http://www.iiyama.co.jp>)からサポートページへアクセスし、「画面調整プログラム」を起動して調整を行います。

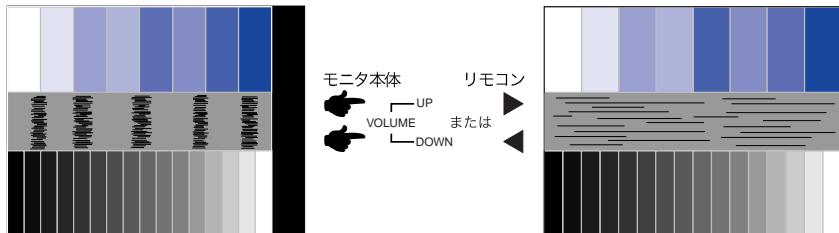
次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/2000/Me/XPを基準に説明しています。

- ① 「画面調整プログラム」を起動します。
- ② お使いのモニタの解像度を選択すると、調整パターンが表示されます。

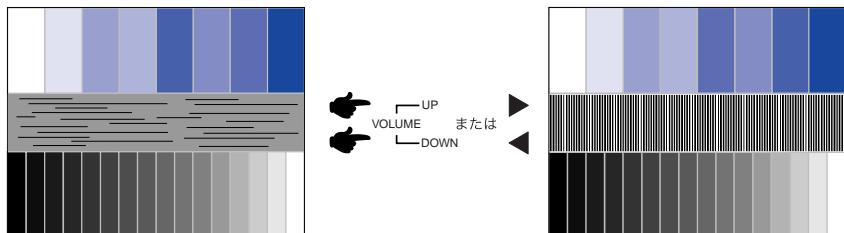
[調整パターン]



- ③ 調整メニューから位置調整→自動位置調整、機能→自動トラッキングを選択し、それぞれ実行します。(自動調整)
- ④ 自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、位置ずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。
- ⑤ 調整メニューのクロックにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。



- ⑥ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのフェーズにて調整します。



- ⑦ 画面調整プログラムの「位置」を選択し、調整メニューの水平位置、垂直位置にてクロスハッチパターンの上下左右枠が表示領域に入るよう調整します。



補足

- クロックを調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、クロックと水平位置を交互に調整してください。
- クロック調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するのも一つの方法です。
- クロック、水平位置、垂直位置を調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。
- クロックを調整しても表示領域に収まらない場合は、③からもう一度調整を行ってください。
- フェーズを調整しても画面の一部分にひどくにじみやちらつきが残る場合、クロックが正確に調整されていない可能性があります。⑤からもう一度調整を行ってください。それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く(60Hz)設定し、③から調整を行ってください。
- フェーズを調整中、水平位置がずれてしまう場合は、フェーズ調整を終えてから水平位置にて調整してください。

- ⑧ 最後に、画面調整プログラムの「明るさ」を選択し、調整メニューのコントラスト、ブライトネスにて、調整パターン下部の白黒16階調が見えるよう、目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節します。

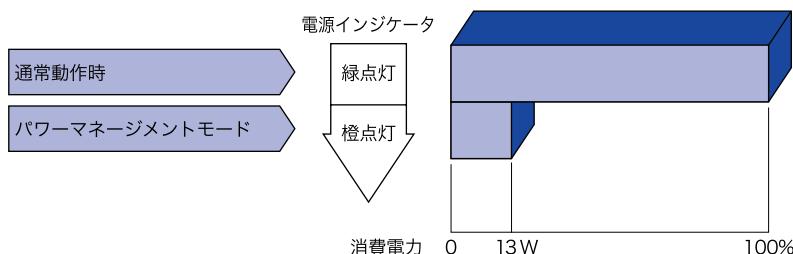
「終了」をクリックしてプログラムを終了させてください。

パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ パワーマネージメントモード

コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネージメントモード（消費電力13W以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケーターが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



補足

- パワーマネージメントモード時やモニタの電源をOFFにした状態でもわずかに電力を消費しています。夜間や外出時などモニタを使用しないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いて、不要な電力消費を避けてください。
- 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。

その他の周辺機器との接続

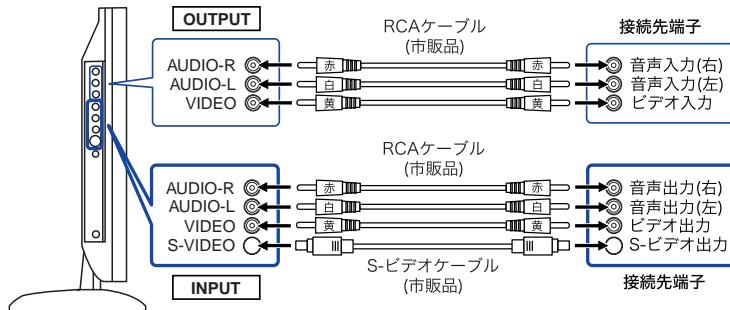
△ 注意

周辺機器への接続を行う場合は、モニタと周辺機器の電源プラグを必ずコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

補足

- 周辺機器の取扱説明書も併せてお読みください。
- 必要に応じて下記(市販品)をご用意ください。
 - ・RCAケーブル
 - ・S-ビデオケーブル
 - ・同軸ケーブル
 - ・アンテナアダプタ
 - ・VHF/UHF混合器

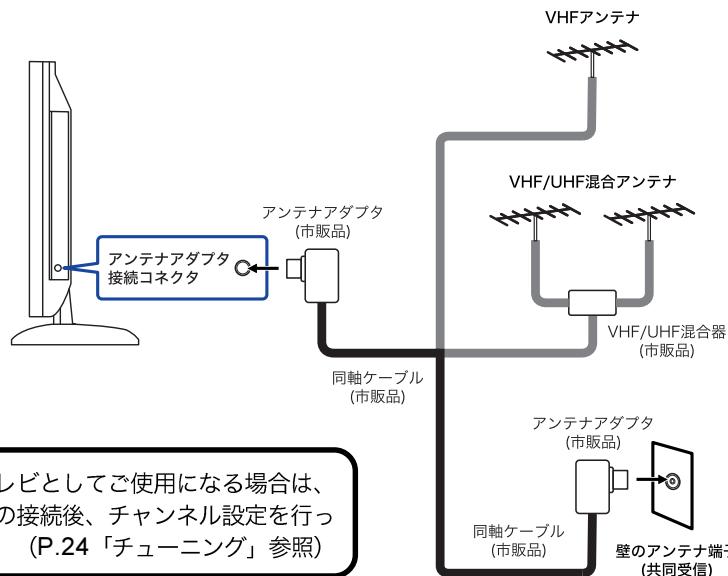
AV機器(ビデオ・DVD・ゲーム機等)との接続



アンテナとの接続

△ 注意

アンテナの設置には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。



調整メニューの内容

言語選択(LANGUAGE)で日本語を選択した場合を黒色、英語を選択した場合を青色で記載しています。
入力モードの切り換えについては、P.11 「④入力モードを切り換える」を参照してください。

TV/ビデオ/S-ビデオモード時

映像 PICTURE	
調整項目	画面の状態/調整ボタン
コントラスト CONTRAST	弱すぎる 強すぎる
	モニタ本体 UP リモコン VOLUME または DOWN
ブライトネス* BRIGHTNESS	暗すぎる 明るすぎる
	モニタ本体 UP リモコン VOLUME または DOWN
シャープネス SHARPNESS	画質を調整します
	モニタ本体 UP リモコン VOLUME または DOWN
カラー COLOR	色が薄い 色が濃い
	モニタ本体 UP リモコン VOLUME または DOWN
色あい TINT	色が緑がかっている 色が紫がかっている
	モニタ本体 UP リモコン VOLUME または DOWN

* 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、ブライトネスを調整してください。

音声 SOUND	
調整項目	画面の状態/調整ボタン
高音 TREBLE	弱すぎる 強すぎる
	モニタ本体 UP リモコン VOLUME または DOWN
低音 BASS	弱すぎる 強すぎる
	モニタ本体 UP リモコン VOLUME または DOWN
バランス BALANCE	右が弱い（左が強い） 左が弱い（右が強い）
	モニタ本体 UP リモコン VOLUME または DOWN
音声多重* MTS	モノラル
	ステレオ
	主音声
	副音声
	主音声／副音声
ステレオ放送受信時に音声をモノラルに切り替えます	
ステレオ放送受信時に音声をステレオに切り替えます	
音声多重放送受信時に主音声のみを出力します	
音声多重放送受信時に副音声のみを出力します	
音声多重放送受信時に主音声／副音声を同時出力します	

* TVモード時のみ設定できます。

リモコンでの設定については、P.10 「⑯ 音声切換」を参照してください。

機能 FUNCTION	
調整項目	画面の状態/調整ボタン
インフォメーション※1 INFORMATION	TVモード時：現在受信しているチャンネル ビデオ/S-ビデオモード時：現在選択しているモード名
チューニング※2 TUNING	自動チャンネル設定 チャンネルが自動的に切り換わっていくので、お好みのチャンネルが表示されたらメニュー ボタンを押してチャンネルを選局します
	チャンネル スキップ設定 映像の表示／非表示をチャンネルごとに設定します。 チャンネルボタンでチャンネルを切り換えていくと「記憶」に設定したチャンネルのみ映像が表示されます。「取消」に設定したチャンネルはスキップされます。
	手動チャンネル設定 リモコンのTVチャンネル番号ボタン(1~12)に割り当てる受信チャンネルとその表示番号を設定します。
言語選択 LANGUAGE	ENGLISH 英語表示
	JAPANESE 日本語表示

※1 リモコンでの設定については、P.10 「⑯ 画面表示」を参照してください。

※2 TVモード時のみ設定できます。

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2.へ進んでください。
2. 調整項目がない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起つたり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになつた販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

症状

チェックポイント

① 映像が出ない

- (インジケータ点灯せず) ACアダプタのケーブルが確実に接続されていますか?
 電源コードが確実に接続されていますか?
- (インジケータ赤色) 電源が「ON」になっていますか?
 電源コンセントに電気がきていますか? 別の機器で確認してください。
- (インジケータ緑色) ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか? マウスやキーボードを触ってみてください。
 ブライトネス(輝度)およびコントラストが最小になっていますか?
 コンピュータの電源は入っていますか?
 信号ケーブルが確実に接続されていますか?
 コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか?
 パワーマネージメント状態ではありませんか?
マウスやキーボードを触ってみてください。
- (インジケータ橙色) 入力モードの選択は合っていますか?
モードを切り換えてみてください。
 コンピュータの電源は入っていますか?
 信号ケーブルが確実に接続されていますか?
 コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか?
 電源が「ON」になっていますか?

② 画面が乱れている



- 信号ケーブルが確実に接続されていますか?
 コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか?
 コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか?

③ 画面の位置が片寄っている

いる



- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか?

④ 画面が明るすぎる ／暗すぎる

- コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか?

症状	チェックポイント
⑤ 画面が揺れる	<input type="checkbox"/> 電源電圧は正常ですか? タコ足配線はやめてください。 <input type="checkbox"/> コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか?
⑥ リモコンが操作できない	<input type="checkbox"/> リモコンの電池が消耗していませんか? <input type="checkbox"/> リモコンの電池の向きは正しいですか? <input type="checkbox"/> 蛍光灯などの強い光がリモコン受光部に当たっていませんか? <input type="checkbox"/> リモコンとリモコン受光部の間に障害物はありませんか?
⑦ ビデオ映像が出ない ゲーム画面が出ない	<input type="checkbox"/> 信号ケーブルが確実に接続されていますか? <input type="checkbox"/> 接続先AV機器の電源は入っていますか?
⑧ テレビ映像が出ない	<input type="checkbox"/> アンテナ線が確実に接続されていますか?
⑨ テレビ映像に斑点や 縞が出る	<input type="checkbox"/> 自動車・電車・ネオン・コンピュータなどからの妨害電波を受けていませんか? アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離して設置してください。アンテナ線はコンピュータから離してください。
⑩ テレビ映像が二重になる	<input type="checkbox"/> 近くに山や大きな建物がある場合、反射電波の影響が考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。
⑪ 音が出ない	<input type="checkbox"/> AV機器の電源は入っていますか? <input type="checkbox"/> オーディオケーブルが確実に接続されていますか? <input type="checkbox"/> ヘッドホンが接続されていませんか? ヘッドホンを外してください。 <input type="checkbox"/> 音量が最小になっていませんか? <input type="checkbox"/> 消音設定になっていませんか? <input type="checkbox"/> AV機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか?
⑫ 音が大きい／小さい	<input type="checkbox"/> AV機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか?
⑬ 異音がする	<input type="checkbox"/> オーディオケーブルが確実に接続されていますか?



クリーニング

⚠ 警告

- 万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

⚠ 注意

- 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

補足

- 液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。
- キャビネット、液晶パネル、クリアビューパネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・研磨剤
- ・スプレークリーナー
- ・ワックス
- ・酸性、アルカリ性の溶剤

- キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネット

柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

液晶パネル

定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

アフターサービス

保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期限は本体お買い上げ日より3年間です。ただし、中古販売の製品については3年間の保証は適用されません。
また、液晶パネルおよび光源のバックライトの保証期限は1年間です。ただし、1年の保証期間内であっても輝度の低下や焼き付き等による経年劣化の場合は、保証の対象にはなりません。

修理サービス

- 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずイーヤマサービスセンターまでご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

オプション部品

- オプション部品をご注文の際にはP. 14の表に記載されている品名とパートNo.で、販売店にご注文ください。

リサイクル／廃棄について

- 本製品をごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。
- 本製品に使用している蛍光管には水銀が含まれていますので、本製品を弊社以外へ廃棄する際は地方自治体の条例または規則に従ってください。
- 本製品を一般家庭でご使用の場合は、弊社が無償で回収・再資源化いたします。ただし、本製品を事業所でご使用の場合は対象外となります。
- リサイクル／廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧いただくな、イーヤマサービスセンターへお問い合わせください。

リサイクル／廃棄についてのお問い合わせ
イーヤマサービスセンター

TEL 025-523-9207
FAX 025-521-5270



このマークが表示されている弊社製品は
弊社が無償で回収・再資源化いたします。
詳細は弊社ホームページをご参照ください。
URL: <http://www.iiyama.co.jp/>

付録

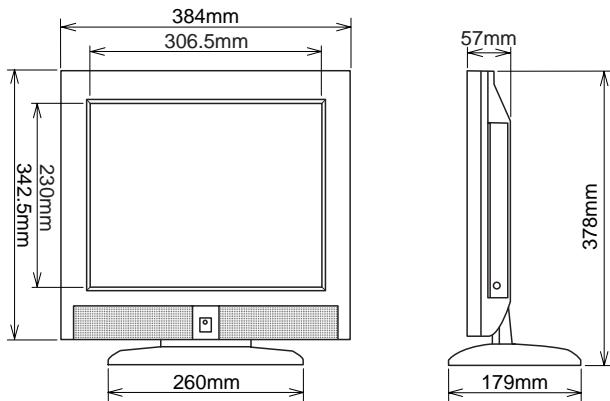
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様

液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス
	サイズ	対角：38cm／15.0"
	画素ピッチ	水平 0.297mm×垂直 0.297mm
	輝度	500cd/m ² (標準)
	コントラスト比	400 : 1 (標準)
	視野角	左右各75° 上下各70°
	応答速度	16ms (黒→白→黒)
最大表示色	1,620万色	
走査周波数	水平：31.0～69.0kHz 垂直：56～85Hz	
ドットクロック	110MHz(最大)	
解像度	1024×768(最大)	
信号入力コネクタ	D-SUBミニ15ピンコネクタ RCAピンジャック(ビデオ) S-VIDEOコネクタ	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC1/2B TM 対応	
入力同期信号	セパレート同期： TTL 正極性／負極性	
入力映像信号	アナログ：0.7Vp-p(標準), 75Ω, 正極性	
ビデオ信号方式	NTSC	
テレビ信号方式	NTSC-M	
アンテナ入力	VHF/UHF, 75Ω, 不平衡	
受信チャンネル	VHF：1～12, UHF：13～62	
音声入力コネクタ	Φ3.5mm ステレオミニジャック RCAピンジャックR/L	
入力音声信号	0.7Vrms(最大)	
スピーカー	1.5W×2(ステレオスピーカー)	
ヘッドホン端子	Φ3.5mm ステレオミニジャック	
最大表示範囲	水平：304.1mm 垂直：228.1mm	
入力電源	付属ACアダプタ：AC100～240V 50/60Hz 1.5A(出力DC12V 5A) モニタ本体：DC12V 3.75A	
消費電力	45W(最大) パワーマネージメントモード：13W(最大)※	
外形寸法, 重量	384(幅) × 378(高) × 179(奥行) mm, 4.6kg	
角度調節範囲	後方0°～30°	
環境条件	動作時の温度： 5～35°C 保管時の温度： -20～60°C 湿度(-20～50°C未満時)： 20～85% (結露なきこと) 湿度(50～60°C時)： 20～55% (結露なきこと)	
適合規格	VCCIクラスB	

補足 ※ PCモード時。

外形寸法図



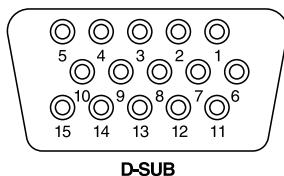
対応信号タイミング

ビデオモード		水平周波数	垂直周波数	ドットクロック
VESA	VGA 640×480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz
		37.861kHz	72.809Hz	31.500MHz
		37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz
		43.269kHz	85.008Hz	36.000MHz
	SVGA 800×600	35.156kHz	56.250Hz	36.000MHz
		37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz
		48.077kHz	72.188Hz	50.000MHz
		46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz
	XGA 1024×768	53.674kHz	85.061Hz	56.250MHz
		48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz
		56.476kHz	70.069Hz	75.000MHz
		60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz
		68.677kHz	84.997Hz	94.500MHz
MS-DOS	640×350*	31.469kHz	70.087Hz	25.175MHz
VGA TEXT	720×400*	31.469kHz	70.087Hz	28.322MHz

補足 * 画像の縦横比が4：3でないため、上下方向に間のびした画像になります。

信号入力コネクタのピン配列

■ D-SUBミニ15ピンコネクタ



PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	赤ビデオ	9	NC
2	緑ビデオ	10	接地
3	青ビデオ	11	NC
4	NC	12	データライン(SDA)※
5	接地	13	水平同期
6	赤ビデオ接地	14	垂直同期
7	緑ビデオ接地	15	クロックライン(SCL)※
8	青ビデオ接地		※ VESA DDC 規格に準拠

〈保証条件〉

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきイーヤマサービスセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターに製品と保証書をご提示の上依頼してください。
尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - (1) 保証書をご提示されないとき。
 - (2) 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
 - (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧による故障または損害。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
 - (5) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。